



平成28年11月2日

**第25回ペスタロッチー教育賞
表彰式・記念講演、記者会見のご案内**

広島大学大学院教育学研究科とペスタロッチー教育賞実行委員会は、優れた教育実践を行っている個人・団体を顕彰する第25回ペスタロッチー教育賞の表彰式及び記念講演並びに受賞者の記者会見を、平成28年12月22日（木）に東広島キャンパスで開催しますのでご案内いたします。

記

受賞者：湊 晶子 氏（広島女学院大学 学長）**表彰式・記念講演**

日 時：平成28年12月22日（木）12:50～14:20

場 所：広島大学大学院教育学研究科L205 講義室

後 援：もみじ銀行、中国新聞社

プログラム：

- ・主催者挨拶 ペスタロッチー教育賞実行委員会委員長（広島大学長）越智光夫
教育学研究科長 小山正孝
- ・祝 辞 もみじ銀行頭取 小田宏史氏
- ・表彰状授与及び胸像贈呈
ペスタロッチー教育賞実行委員会委員長（広島大学長）越智光夫
- ・記念品贈呈 中国新聞社代表取締役社長 岡谷義則 氏
- ・記念講演 ペスタロッチー教育賞受賞者 湊晶子 氏

記者会見

時 間：記念講演終了後、14:30～（15分程度）

場 所：広島大学大学院教育学研究科 第二会議室

※ これまでの受賞者一覧等は、本学ホームページをご覧ください。
（大学トップページ → 大学院教育学研究科・教育学部のページ → ペスタロッチー教育賞）
<http://hiroshima-u.jp/ed/pestalozzi>

【お問い合わせ先】

本賞・受賞者に関すること
広島大学大学院教育学研究科教育学講座 丸山
TEL : 082-424-6730

表彰式・記念講演に関すること
広島大学教育学研究科支援室（総務・人事担当） 小濱
TEL : 082-424-5605

発信枚数：A4 / 4枚（本票含む）

第25回ペスタロッチー教育賞受賞者に、湊晶子（みなとあきこ）氏が選ばれましたので発表いたします。

【第25回ペスタロッチー教育賞 受賞者】

広島女学院大学 学長

湊 晶子（みなと あきこ）

【略歴】

1932年仙台生まれ神戸育ち。1955年東京女子大学卒業後、フルブライト奨学生としてホイトン大学大学院にて神学修士を取得し、ハーバード大学客員研究員として初期キリスト教史を研究。NHK英語会話中級講師、東京基督教大学（名誉教授）、東京女子大学教授を歴任後、2002年から東京女子大学学長を2期8年務める。2014年より広島女学院院長・学長現在に至る。日本私立大学連盟理事、大学基準協会監事など高等教育界に貢献する他、ワールド・ビジョン・ジャパン理事・国際理事として途上国の教育振興にも長年尽力する。2008年ホイトン大学より「名誉卒業生功労賞・名誉博士号」を授与され、2005年「第2回新渡戸・南原賞」を、2010年「瑞宝中綬章」を受章した。著書には『新渡戸稲造と妻メリー』（キリスト新聞社）、『国際社会で活躍した日本人』共著（弘文堂）、『女性を生きる』（角川書店）などがある。二男一女の母でもある。

【受賞理由】

この度の授賞にあたり、湊氏が自らの生き方を範に、自立した女性の在り方を示されるとともに、そうした女性への人格的成長を促すリベラル・アーツ教育を実践してこられたことが評価された。

湊氏はフルブライト奨学生として渡米し、最高水準の教育を受けて初期キリスト教史の研究者の道を進まれた。同じフルブライト奨学生であった男性と結婚し、男児をもうけて帰国する。育児を優先して初めはフルタイムの仕事には就かず、女性として、妻、母、研究者の共存を目指された。三人の子どもに恵まれるも夫が急逝し、未亡人として家族を守り続けた。働く女性を支援する保育施設もなく、育児休業も認められていない時代である。氏は大学で教鞭を執りつつ女性史研究者としてもまた女子教育の実践家としても研究と教育を牽引された。氏の唱える女子教育はキリスト教を基盤としたリベラル・アーツ教育であり、現代日本において自立した女性を育てる教育として矛盾なく説得力をもって推進されている。

湊氏が女子教育として語ることのひとつひとつは具体的である。氏ご自身が自立した女性の先駆者として歩んで来られた。女性が留学し最先端の研究者となることも、女性が働きながら子どもを育てることも、極めて希な時代であった。だからこそ、単なる理想論でも空理空論でもなく、戦後日本の社会のなかで女性がどのように生きていくことが自立した人格をもつものであるのかを、夫との関係、子どもとの関係、仕事と家事と育児に関わるときの心構えなどのうちに示すことができているのである。氏の女子教育は、東京基督教大学及び東京女子大学における教育実践として身を結び、さらに、東京女子大学学長及び広島女学院大学学長としてのリーダーシップのもと、多くの女子学生の指針となった。そして、女性の生き方の支えとなるとともに、日本の社会を変えるきっかけとなりつつある。

18世紀スイスの思想家であり実践家であったペスタロッチーは、それまで教育の対象とは考えられてこなかった貧児を集めて教育の機会を与え、どのような状況にいる子どもも知的にも道徳的にも学ぶうることを証明した。湊氏の女子教育実践もまた、戦後日本の社会のなかで人格的成長を阻まれていた女性に対し、自立の在り方を示すものである。氏の長年の努力と功績に対し、第25回ペスタロッチー教育賞を贈呈し、高く顕彰したい。

受賞者 湊 晶子 氏

(広島女学院大学 学長)



第25回ペスタロッチー教育賞 表彰式及び記念講演

- 日 時 平成28年12月22日(木) 12:50~14:20
表彰式 12:50~
記念講演 13:20~
- 場 所 広島大学大学院教育学研究科 L205 講義室
(東広島市鏡山一丁目1番1号)
- 主 催 広島大学大学院教育学研究科, ペスタロッチー教育賞実行委員会
- 後 援 もみじ銀行, 中国新聞社
- 受賞者 湊 晶子 氏 (広島女学院大学 学長)

プログラム

- 1 開会の辞
- 2 主催者挨拶
ペスタロッチー教育賞実行委員会
委員長 (広島大学長) 越 智 光 夫
広島大学大学院教育学研究科長 小 山 正 孝
- 3 祝 辞
もみじ銀行頭取 小 田 宏 史
- 4 表彰状授与及び胸像贈呈
ペスタロッチー教育賞実行委員会
委員長 (広島大学長) 越 智 光 夫
- 5 記念品贈呈
中国新聞社代表取締役社長 岡 谷 義 則
- 6 記念講演
ペスタロッチー教育賞受賞者 湊 晶 子
- 7 閉会の辞

問合せ先

【本賞及び受賞者に関すること】

広島大学大学院教育学研究科 丸山

TEL: (082) 424-6730

【表彰式, 記念講演及び会場等に関すること】

広島大学教育学研究科支援室 (総務・人事担当) 小濱

TEL: (082) 424-5605



広島大学